

税とわたしたちの生活との関係は？

この本を手にしたみなさんへ

この本は、主人公の「ぜいむ」とともに、税とわたしたちの生活との関係について考えていくためのものです。「税」にまったく興味がないぜいむさん。彼は、このあとどうなっていくのでしょうか。



本が大好きな
まなぶさん



主人公の
ぜいむさん

「税」だって？
あんまり
分からないな・・・

ぜいむさんのお友達



しっかり者の
よし子さん

● 目次 ●

- 図書館の本は全部でいくら？ ————— 1
- 図書館の本を買ってくれたのはだれ？ ————— 2
- みんなの願いを実現させるために ————— 4
- わたしたちの街で税は…？ ————— 6
- 税金の使い道はどのように決められるのだろうか？— 8



図書館の本は全部でいくら？

まなぶさんは学校の図書室に行き、お気に入りの本で歴史の調べ学習をしていました。

でも、人気のある本は借りられていて、図書室にないこともあります。そこで、まなぶさんはよいことを思いつきました。

「家に帰って、この本を買ってもらおう」

さっそく、まなぶさんは本の値段を調べました。すると、定価2,400円とありました。あまりの値段の高さに驚き、他の本の値段も調べてみたくなりました。



そこで、まなぶさんは、ぜいむさんとよし子さんをさそい、「図書館探偵団」を結成し、図書室にある本の値段は、全部でいくらぐらいになるのか調べることにしました。



うん

そんなに多くないんじゃないかなあ・・・



すごい金額になりそうだわ！



図書館探偵団 報告書

本の名前	値段
合計	冊 円

※調べたことを表に書き込もう。